

第一回 星の俳句コンテスト

全国から約千句の応募がありました！



令和元年、七夕を通じて交野ヶ原の文化振興をさらに促進し、ゆくゆくはこの土地に七夕がなくてはならない日となることを目的として、また、交野ヶ原の七夕文化の再スタートという意味も込めて、私たち天の川・交野ヶ原日本遺産プロジェクトは、「星の俳句コンテスト」を開催いたしました。

交野ヶ原（現在の交野市・枚方市）は、七夕伝説をはじめとして、星にまつわる伝承・史跡・地名が集中して残る「星の降る里」「天空の地上絵」として全国でも珍しい地域です。「星の俳句コンテスト」第一回の表彰式の会場としては、平安時代に弘法大師が星を降らせたと伝えられる「降星伝説」に縁起を持つ、星田妙見宮にて行いました。日取りも、七月七日の七夕祭において行いました。

審査委員には、前衛俳人として著書も多い、夏石番矢氏（明治大学法学部教授）をお迎えし、表彰式当日には講評と講演をしていただきました。

星田妙見宮の参道の笹には「星の俳句コンテスト」すべての応募作品が短冊として飾られ、幻想的な雰囲気を醸し出していました。応募した俳句を探しにこられている方も多く見られました。短冊はその後、天に届くようにお焚き上げしていただきました。

以下受賞作品をご紹介！

夏石番矢賞

オリオン座 星の時間の砂時計
橋本來咲 宮城県石巻市立蛇田小学校

【講評】
東日本大震災に遭遇された宮城県石巻市からの投句です。オリオン座は、星座の中でも、目立つものです。しかも大きな星座です。三ツ星は、狩人のオリオンのベルトとも言われていますが、日本では住吉三神としてあがめられてきました。海を往来した私たち祖先の記憶がこの天体に宿っています。橋本さんの俳句では、地上の時間ではなく、夜空の「星の時間」が作者の想像力と実験によってしつかりとたらえられています。そしてその大きな舞台の中で、なるほどオリオン座は、「砂時計」として見えできます。スケールの大きい俳句として推奨します。そして、夜空の星々に、秘密の仕組みを読み取ろうとしてきた、日本に限定されない人類のこれまでの営為も、この俳句は暗示しています。

大阪府知事賞

地よ海よ野ざらしの星 打上げよ
奈良拓也 長野県上伊那郡

【講評】
奈良さんの俳句では、大胆にも星が「野ざらし」と表現されます。宇宙空間に浮かぶ天体が、大地や大海原から、ロケットのように打ち上げられ、野原の雨や風にさらされて、たくましく輝き続けるのです。この「野ざらしの星」は、実は作者自身、あるいは作者がそうあります。自画像です。

枚方市長賞

枚方市教育長賞
午前四時 犬の感情 春の星
松浦星大 大阪産業大学附属高等学校

僕の声 大地を伝う 星月夜
矢部大夢 埼玉県川越市立福原中学校
えんとつからみる おほしさま
水金凜太郎 ほしだ幼稚園
きれいだな

交野市長賞

四才児 自分の星座 作ってた
大澤奏 宮城県石巻市立蛇田小学校

交野市長賞
午前四時 犬の感情 春の星
松浦星大 大阪産業大学附属高等学校

枚方市長賞

大地を伝う 星月夜

矢部大夢 埼玉県川越市立福原中学校

交野市長賞

えんとつからみる おほしさま

水金凜太郎 ほしだ幼稚園

枚方市長賞

午前四時 犬の感情 春の星

松浦星大 大阪産業大学附属高等学校



長い参道の両側に飾られた色とりどりの短冊と応募作品には圧巻の一言

星田妙見宮賞

星祭 少女の水色が 咲いている
野谷真治 神奈川県中郡

一般の部 大賞

星月夜 ピテカントロバス 歩きだす

高橋もこ 大阪府守口市

中高校生の部 大賞

流星群 「前前世」 の 音 が す る
浅野樹 大阪府交野市立第三中学校

小学生以下の部 大賞

しかられて 正座し ながら 星座見る
佐藤羽華 宮城県石巻市立蛇田小学校

生徒さんの代理出席として宮城県石巻市蛇田小学校の校長先生が旅費を自腹で出してご出席くださいました。感謝!!



大阪府広報担当副知事のもずやんが大阪府知事賞を、交野市のおりひめちゃんが交野市長賞を受賞者へ手渡しました



自分の書いた短冊や俳句がどこに飾られているか探す楽しみも



夏石番矢先生の講演に聞き入っておられる黒田市長と北田教育長



応募作品を笹飾りして飾るために実行委員メンバーで一つ一つ紐を通していきました



今回、当プロジェクトでも俳句コンテストは初の試みでした
が、プロジェクト顧問である星田妙見宮の佐々木宮司や総代のみなさまのお力を借りし、おかげさまでつつがなく終えることができました。
実行委員メンバー自身も、俳句に向き合
き、俳句を通じて多くのつながりが生まれ、人の心のあたたかさに触れることができます。
また来年、第二回を行います。星への想いを俳句に託して、五・七・五で表現してみませんか？